

新自由主義からの脱却と私たちの “自助、共助、公助”とは

—ウイズコロナの社会構造の転換にむけて—

12/3

講師

小川淳也

衆議院議員

高端正幸

埼玉大学准教授

新型コロナウイルス感染症問題は、エッセンシャル労働に象徴されるような、もともと私たちの社会の中で深く進行していた“社会の脆弱性”をはっきりとうちだしました。

小泉政権以来の**新自由主義**的な考え方によって社会のあらゆる分野に経済効率性や過度な市場原理をもとめられた結果、公的セクターは著しく後退し、さらに中間層は衰退、**個人の自己責任**が強要されて**同調圧力**が社会に蔓延してしまいました。

7年8か月の安倍政権の検証を通して新自由主義とは何か、また今後私たちの望む新たな社会とは何かについて、今年ドキュメンタリー映画「なぜ君は総理大臣になれないのか」が公開された、立憲民主党 **小川淳也**衆議院議員 と、財政学、地方財政論を専門にされている埼玉大学経済学部准教授 **高端正幸**先生 をお迎えし、“**自助、共助、公助**”を巡るシンポジウムを開催します！

定員 50人（先着順）

コロナ対策のため会場で三密対策を取ります。

受講料 無料

どなたでも参加出来ます。会場での講演とオンラインでの参加も可能です。

主催 政経セミナー運営委員会（代表 白川秀嗣・越谷市議会議員）



12月3日（木）午後6時30分

会場：春日部市市民活動センター会議室1・2

春日部市南一丁目1番地7号 048-731-3550（東部地域振興ふれあい拠点施設4階）

<http://kasukabe.genki365.net/index.html>

運営委員会事務局

越谷市大里226-1 白川事務所内

連絡担当

吉田

070-5542-0443



オンライン参加
申し込み用フォーム
締切 11/29